

令和7年度第4回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和7年度第4回座間市社会教育委員会議		
開催日時	令和7年11月28日（金）10:00～12:00		
開催場所	座間市役所 5階 教育委員会室		
出席者	赤羽議長、宮代副議長、乾委員、浦委員、金井委員		
事務担当	郡司生涯学習課長 ほか2人		
関係各課	高野こども育成課長、安部スポーツ課長、飯田図書館長		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1. 経過報告と今後の事業について 2. 令和7年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）（報告） 3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会（報告） 4. 令和7年度知ることからはじめる人権啓発研修講座（報告） 5. 研究テーマについて 6. その他		
資料の名称	資料1. 第4回座間市社会教育委員会議経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 令和7年度社会教育委員連絡会議開催要項 資料4. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項 資料5. 令和7年度知ることからはじめる人権啓発研修講座開催要項		
会議の結果			
研究テーマについて、各委員調査、研究する団体等について考え、次回会議の際、検討する。			

議事の概要

はじめに

本日は、委員6名中5名が出席。座間市社会教育委員会規則第3条4項の要件（過半数以上の出席）を満たしているため、本会議は成立する。小多喜委員は欠席。

1. 経過報告と今後の事業について

事務局

資料1は、前回の会議後から本日（令和7年9月25日（木）～令和7年11月28日（金））までに、木島教育長が出席した社会教育関係事業の経過報告である。代表的なものをあげると、9月は「座間市演奏家連盟スクールコンサート」（9月25日（木））、10月は「SC相模原ガミティフェス」（10月4日（土））、11月は「市青少年健全育成大会」（11月16日（日））に有山教育長職務代理、馬場教育委員、吉田教育委員も出席された。

資料2は、今後3か月間の社会教育関係の行事予定である。11月は図書館で「身近学を学ぼう」（11月29日（土））、「市民健康マラソン大会」（11月30日（日））が開催される。12月は、北地区文化センター事務室再開（12月2日（火））、北地区文化センター再開記念イベント（12月20日（土））、図書館では、「としょかんクリスマス会」（12月20日（土））が開催される。1月は、「座間市成人式」（1月12日（月））が開催される。

赤羽議長

資料1、2について何か質問・意見等はないか。

乾委員

立野台小学校宿泊研修（10月25日（土））では、どのようなことを実施したか。

こども育成課長

市子ども会育成会連絡協議会と共同開催をしている。小学校の体育館を使用し、宿泊する事業を実施した。内容については、調理実習、避難所体験、LEDライトでのキャンドルライト等を実施し、大人も含め、60名程度の参加があり、盛大に行われた。

金井委員

夜の図書館公演「ただいまスピカ」（11月29日（土））とは、どのようなものか。

事務局

市ジュニアリーダーズクラブの卒団生が所属している劇団が東地区文化センターを利用し、劇を披露する新たな試みである。オリジナルの台本で、舞台セットも手作りである。好評をいただいております、予約も満員となっている。

(こども育成課長、スポーツ課長、図書館長 退席)

2. 令和7年度社会教育委員連絡会議（県央教育事務所）（報告）

事務局 （本会議について報告）

3. 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会（報告）

宮代委員 第1分科会で地域の教育力の再生と社会教育委員の役割について、長野県下諏訪町、海老名市の事例を聞いた。その中で、長野県下諏訪町の星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした、紙芝居やYouTube作成に対する意欲に感銘を受けた。また、地域の魅力を子どもたちや地域住民に伝えることは社会教育委員の役割と改めて感じた。海老名市については、海老名市社会教育計画に沿った様々な取組がなされていた。中でも、えびなっ子ふれあいフェスタは、社会教育団体と連携し実施しており、ダンスやサッカー等のスポーツだけではなく、茶道や二胡等の体験する機会が少ない団体も参加しており、素晴らしい取組であると感じた。二つの事例を聞いて、社会教育委員としての精神を常に持ち、今後対応していきたい。

赤羽議長 事務局として、写真を撮りながら第1分科会の事例を聞いていたが、端的に言うと、長野県下諏訪町は教育長の諮問に応じて社会教育委員が活動しており、海老名市は様々な団体とのつながりを最大限に活用し、社会教育委員が活動していると感じた。

乾委員 第2分科会では栃木県市貝町のジュニアリーダーズクラブに所属する高校生の事例と藤沢市の事例発表であった。市貝町のジュニアリーダーズクラブの事例発表は素晴らしかった。若い人の意見や主張、高校生の素直さに刺激を受けた。また、高校のカリキュラムの中で、社会活動やボランティアに対する評価が低いと感じた。

金井委員 第3分科会では、家庭教育支援の観点で、群馬県高崎市と寒川町の事例発表があった。群馬県高崎市では、学びを通じて親子が成長し活躍できるための家庭支援の施策について諮問を受けて、社会教育委員が各部署と連携しながら答申を作成したとの報告であった。その答申の内容については、福祉的視点にも配慮した家庭教育支援、参加を促す支援から身近に届ける寄り添う家庭教育支援、親と子どもの身近な場所で多様な支援を行う等の内容であった。寒川町の事例発表については、公民館、図

書館における家庭教育支援の取組についての発表があった。公民館事業では、さむかわイングリッシュ・キャンプや夏休み子どもキャンプを実施している。図書館事業については、赤ちゃんに対する「月にいちどの赤ちゃんタイム」という育児の本の読み聞かせの実施と具体的な内容であり参考になった。

浦委員

第5分科会では、地域学校協働活動について、新潟県見附市と真鶴町の事例発表があった。新潟県見附市では、見附市立見附中学校での取組事例で、サツマイモを栽培するため、畑づくりから地域と協働で育て、収穫後は学園祭での販売をしており、地域と学校の交流があり、生徒が中心となって活動されていた。真鶴町では、町の特性を活かした事業等が開催されていた。中でも、公民館での放課後いきいきクラブでは学習支援を行っており、町内には塾がないため、学習支援を受けた子どもたちが大学生となり戻って来て、学習支援をしているという内容であった。町一体となって、事業に取り組む姿勢が参考となった。

4. 令和7年度知ることからはじめる人権啓発研修講座（報告）

事務局

（本会議について報告）

5. 研究テーマについて

赤羽議長

8月に座間市おもちゃドクターの会の活動を見学に行き、「高齢者の生きがい」をテーマに進めてきた。今後は、どのように進めていくか考えていきたい。市子ども会育成会連絡協議会や学校運営協議会等の団体が多くあるので、調査、研究したい団体等があれば、次回会議の際に検討していく。

6. その他

事務局

北地区文化センター会計年度任用職員について報告
座間市社会教育委員再任について説明

【次回会議 令和8年1月21日（水）午前10時～市役所5階 教育委員会室】